2013 年度 京都大学 英語　解答例

I

(1)合理主義においては、道徳性は共時的にもそしてまた通時的にも異なるものであって、それ故に先天的ではあり得ないと想定され、一方でまた大人になった時に私たちが身につけている道徳観がどのようなものであれ、それは子供の頃に大人から善悪の区別を教わった経験を通じて身についてきたはずであるという考え方も疑問視されるのである。

(2)彼は昆虫が様々な段階を経て変態する様に興味をそそられていた。後に彼は関心を人間の子供へと転換することとなったのだが、そのときでさえ、発達における諸段階へのこうした興味は相も変わらずしっかりと持ち続けていた。

(3)彼はまた、水の量が全く同じであるということを大人がいくら説明しても、子供がそれを頭で理解できるだけの年齢、および認知的発達段階に至までは無意味であるということに気づいた。

(4)子供の理解は自己構築的であるという点では、ゲームにおいて交互にプレーしてみることは、コップに入れた水を別のコップに移しまた元のコップに戻してみることと同じであると言えるのだ。大人がいくら頻繁にそういったことを三歳児にやってみせたところで、彼らは公平という概念を理解できる段階にない訳で、これは彼らが体積保存という概念を理解できないことと同じことなのである。

II

(1)ドアノブを回すという見た目には簡単な作業の仕組みには、手からノブに伝わり、ノブを通してドアへと及ぶ様々な力が関わっている。

(2)こういった、完全にどうしようもないという程ではないにしてもイライラが募ってしまう結果となるような家の中での経験からこそ、日常生活に関わる発明品は生まれるのである。一般に、問題を解決しようと最初に行う試みは、目の前の目的にかなう道具を利用した上で既存の技術に改良を加えることから始まるのだ。

(3) ゴムバンドを付けることに比べ、見た目の美しさはさらに満足度の低いものにはなるが、ドアノブに何らかのテープを巻き付けてもいいかもしれない。しかしながら、そういった解決策も手とドアノブの間の摩擦力を高める、見た目にもより美しく、つくりの上でも一体となっているような方法に対する指向性を常に帯びているのである。

(4)このようにノブの形を変えることでノブはむしろ卵のような形になるが、そうなると、摩擦力によってというよりはむしろ、その卵の両端にあたる箇所をそれぞれ逆の方向に向かって押し、いわばノブを一対のレバーとして作用させることによってノブを回せるようになるのである。